

技術士 2 次試験に合格して



野本 真吾

(のもと しんご)

勤務先

株式会社 ジオテック

技術部

〒004-0005 札幌市厚別区厚別東 5 条 1 丁目 4 番 6 号

TEL 011-809-1055 FAX 011-809-1060

E-mail nomoto@geo-tech.co.jp

■ 専門：応用理学部門(地質)

1. 自己紹介

私は、1983 年に北海道砂川市で生まれ、以来ほとんどを北海道で過ごしてきました。大学では土木を学び、衛生環境の研究室に所属していました。研究の中で、地質調査方法の 1 つである物理探査に出会い、物理現象を観測し地下をイメージ化する物理探査に魅力を感じ、これを仕事にしたいと思い、土木関係の地質調査が主体である現所属の会社に入社しました。現在では、物理探査を含めた地質調査の業務に主に従事しています。

2. 技術士の体験談

【受験経緯】

私の大学在学中に、JABEE の認定を受けたプログラムの修了者は技術士の第 1 次試験が免除されることとなり、また私の履修していたプログラムが JABEE の認定を受けることになりました。このような背景もあったからなのか、講義中には「技術士」に関する話題も多くありましたので、「技術者になるなら技術士を目指すものなんだ」と学生ながら漠然と感じた記憶があります。入社後も、社内には技術士を目指す風潮がありましたので、受験資格を取得してからすぐに挑戦することにしました。

【筆記試験】

平成 22 年～ 24 年度は 3 年連続で不合格でした。正直に言うと何をどう勉強してよいかわからずに、試験勉強の質・量も全く足りず、ただ受験しているだけの期間でした。当時の必須科目(記述式)で A 評価を頂いたこともあり、自分の文章能力がなんとかあるレベルだと安堵する一方で、選択科目では C 評価もあり自分の不甲斐無さに、ただただ呆れるばかりでした。

このままでは駄目だと思い、勉強方法を変えることにしました。これまでの試験勉強や業務等で得た

知識を繋げることに重きをおき、業務ではその業務の前後の流れを意識して取り組むようにしました。平成 25 年度は勉強期間であると割り切り受験をせずに、翌年度の平成 26 年度に再び受験をしました。試験勉強としては遠回りな方法だったかもしれませんが、これから業務を行う上では重要なことなのではないかと今では思っています。

【口頭試験】

筆記試験の合格発表から口頭試験までは約 5 週間でしたが、発表後すぐの 2 週間に出張が決まっていたため、非常に焦りました。しかし、上司の方々から出張先でもできる事のアドバイスや出張後の業務量を調整してもらうなど、多大なサポートを受け、口頭試験までは続々頂くアドバイスを自分なりに消化させることに忙殺されたため、変に緊張する暇も無く、周りの方々に支えられて最後の一頑張りをする事ができました。

3. 合格して

合格後、多くの方から祝福を受ける機会が想像よりも多かったです。嬉しく思う反面これからの技術士としての責任の重さを感じました。また、試験勉強するほど自分が未熟である事を痛感しました。晴れて合格しましたが、まだまだ未熟であると思ったままです。これからは日々研鑽を重ね、諸先輩方の技術を少しでも多く吸収し、それを土台に新しい技術を考え、そして次世代に継承していくことで、社会に貢献していきたいと考えております。

私の受験に際し、多くの方々にご指導、ご支援を頂きました。この場で改めてお礼申し上げます。現在はまだ後輩・部下はおりませんが、その時が来たら、私が頂いた以上に支援や応援をしていきたいと思っています。